

11月8日はいい歯の日

感染予防対策は



お回から

島根県歯科医師会PRキャラクター・歯ッピーおろち君

ウイルスと口腔内について

お口の中にインフルエンザウイルスなどが入っても必ず感染するわけではありません。お口の中の歯周病菌などが出すタンパク分解酵素がウイルス感染を促してしまうことがあります。

そのため、お口の中をきれいにし、歯周病菌を減らすことは、ウイルス感染から身を守ることにあります。

口腔内細菌が身体へ及ぼす影響

食べ物や唾液と一緒に口腔内細菌が食道や胃を通して腸内にたどり着くと、腸内細菌のバランスがくずれ、免疫力が低下する危険性が高まることが分かっています。

食べ物や唾液と一緒に口腔内細菌が誤って気管から肺に入り込むと、肺炎（誤嚥性肺炎）が起こることがあります。



お口の中の細菌が多いと、これらの感染リスクが高まります。
コロナ禍の今こそ、歯科医院を受診し、お口の中の細菌を減少させ
全身の健康維持・増進につなげましょう。

 日本歯科医師会

人生をもっと楽しくもっと豊かに
<https://www.jda.or.jp/>

島根県歯科医師会

<https://www.shimane-da.or.jp/>

